ASPCA
あしや動物愛護だより
芦屋動物愛護協会 Ashiya Sciety for the Prevention of Cruelty to Animals
2010年（平成22年）春

今でも里親募集中！一時預かりボランティア日記

体はデカいしコワモテだけど、心は優しく純情可憐なママティちゃん

息子のBB

２年前のある日のこと、我等が芦屋動物愛護協会の保護担当 谷崎女史から入った１本の電話がことの始まりでした。
「この間芦屋浜を放浪していたデカイ親子犬を保護して芦屋警察に入れたんだけど、いまだに飼い主さんのお迎えがありません。ガリガリだし捨て犬と思われるので、一時預かりをお願い出来るかなぁ？里親が見つかるまでのしばらくの間です。実は…そろそろ警察の預かりが期限切れになるんですよね～…」という彼女の言葉に思わず体が反応し、向さん夫婦と一緒についつい警察に犬を見に行ってしまったのでありました。

そこには、捨てられてから大変苦労したのが窺い知れるように、肋骨と腰骨がむき出しで骨と皮状態に痩せ衰えた母犬（推定２歳位）と痩せてはいるけど無邪気に尾っぽを振るデカイ仔犬（推定生後６ケ月）の２頭の姿がありました。
このままだと処分されることになるし、とりあえずは連れて帰るか？…しかし、向家には老犬コビー１６歳、捨て犬テンちゃん８歳が住んでいるのです。こんなデカイ犬を２頭も一緒にして大丈夫だろうか？まあ、ほんの一時預かりだし、私も散歩などのお手伝いはするからということで、よっしゃ～！なんとかなるわ！と言いながら、向さんのお宅へ連れて帰ることになりました。そして、母犬は「ママT」（ママティ）仔犬は「BB」（ビービー）と名付けられました。

ドッグフードを与えてみてビックリ！この母犬は、最初にほんの少しだけ食べた後、あとは残りを全部息子に食べさせて、自分はバケツの水を半分位ガブガブと飲んで水腹にしてしまうではありませんか。自分は食べずとも息子に食べさせようとするこの母犬の姿を見た私達は、思わず目頭が熱くなりました。

数日前に２頭を保護して、健康診断のために動物病院へ連れて行った谷崎女史の話によると、母犬は栄養失調で極度の貧血状態であるのに、不思議なことに仔犬はそれほどでもなくわりと元気だとの獣医の診断。（この時の体重はママティが17kg、ビービーは14kg）二頭で放浪していた間、野良猫の餌などを見つけては食べていたのだろうけど、おそらくは、全部息子に譲って自分はほとんど食べなかったと想像出来るとのこと。ただひたすらに息子のことを思うそんな母親の愛情が溢れた感動的なエピソードを聞かせてもらって、またまた私達は涙でウルウル…。

しかし!!そんな献身的な母親の姿もほんのつかの間のこと。向家での数日間が過ぎて、自分達は間違いなくこの家で毎日充分な食事にありつけるんだと確信した途端！ママティの態度が激変!!なんと！今度は可愛い息子の餌を奪い取るようになったのでした。自分の餌を食べ終わるやいなや、まだのんびり食べている息子を脅して押しのけ、彼の分までペロリとたいらげてしまうのです。命の危機を乗り越えて余裕が出来ると、母性愛もヘッタクレも無く食欲が勝るんでしょうかね。なんて面白い犬の世界。

その後、慣れない大型犬２頭のお世話であれやこれやと苦労はしましたが、４ヶ月後に出会ったご縁でお見合いが成立し、ビービーは奈良県の里親さんの元へと行くことになりました。その時には、既に母犬よりもひとまわり大きくたくましく成長していたビービー坊やでした。そして今では、ママティも筋力たくましく４０キロにもなって、素敵な里親さんとのご縁があるのを今でも首を長―くして待っています。

毎日のママティの散歩と世話をしているお陰で、規則正しい生活が送れるようになったことと適度の運動が功を奏したのか、親子犬が来てからのこの２年間は、風邪ひとつ引くことなく健康的な毎日を送っている私です。
ママティが居なくなったら淋しくなってしまうけど、彼女が幸せになってくれることを心から祈っています。

重村　啓二郎

～野良猫と平和に共生出来る社会を目指して～

芦屋市も推進するＴＮＲ活動レポート

（ＴＮＲ活動とは：野良猫を捕まえて＋不妊手術と耳カット＋元の場所にリリースすること）

今年度（平成２１年度）４月から、芦屋市では野良猫のＴＮＲ活動に対する助成金１００万円が芦屋動物愛護協会に交付されています。捕獲と助成金の申し込みについては、市役所環境課（３８－２０５０）が窓口になっていますが、まだご存じない市民の方が多いかもしれません。

野良猫問題の相談とＴＮＲの申し込みのあったところから、順次現場を確認して捕獲と手術を行って参りました。その結果、１２月末の時点で早くも市の助成金を使い切ってしまいましたが、捕獲依頼は今も次々に来ており、手術費用の捻出に苦労をしているところです。

09.4.1～10.1.31	メ　ス	オ　ス	合　計
ＴＮＲ実施頭数	75頭	72頭	147頭
助成金交付頭数	63頭	46頭	109頭

今年度のＴＮＲで捕獲頭数が多かった地域は、町別で統計をとったデータで見ると
山手側の町で２６頭、浜側の町で同じく２６頭、その他１０頭～２０頭を手術した地区が４町ほど続いており、市の山手方面から南芦屋浜に至るまで、東西南北のさまざまな地域で繁殖しているのが分かります。
頭数は多いけれど既に手術の済んでいる猫ばかりが居る所、個人的に或いは他団体が手術をしている所もありますので、今回の統計で上がった数字が、現在生息している猫の数と一致するものではありません。
手術をしていない猫が沢山居るという噂は入って来ていても、具体的な捕獲依頼が無いために後回しになり手付かずになっている地域もまだまだ沢山あります。（餌を与えている人からの捕獲依頼が無いと、捕獲が難しいケースもあるため）

手術費用を個人で負担してくださったかた、町内会で予算組みをしてくださった地域には、助成金を交付せずに手術をすることが出来ました。また、市外在住者からの依頼や捕獲希望の猫が人馴れしていたために里親譲渡を行った場合など、助成金交付の条件外で手術を行ったケースも数件ありました。
市の助成金が底をついてしまったため、当協会の動物愛護基金から手術費用の助成をしたケースも数件あります。
芦屋市から助成金が交付されたことは大変喜ばしいことですが、まだまだ費用は不足しています。これは、飼い猫への不妊手術と完全室内飼いがまだ充分に普及していないこと、捨て猫という犯罪行為があること、野良猫にただ餌を与えるだけの無責任な人達の存在などが原因と言えるでしょうか。猫が可哀想だから…という優しさや愛情だけでなく、近隣との関係や環境のことも考えてマナーを守り責任を持って対応して頂きたいと思います。

捕獲現場でのトラブルや近隣住民からの苦情も無く、このように滞りなく捕獲と手術を行うことが出来ましたのは、市民の皆様や獣医師の先生方のご理解とご協力があったお陰であると心から感謝致しております。安い価格で野良猫の手術を気持ちよく引き受けて下さるボランティア精神豊かな獣医師の先生方が、今後少しずつでも増えていくことを大いに期待しています。
来年度からも、このＴＮＲ活動へのご支援をよろしくお願い致します。

市民の皆様へのお願いです！
野外で暮らす野良猫の寿命は飼い猫よりもかなり短く、３年～５年前後というのが一般的で、手術さえ完璧に済ませておけば、３年位でかなりの数が減少するようなケースも見受けられます。
糞尿の被害で深刻に悩んでおられる方も多いことと思いますが、手術をして繁殖させなければ、間違いなく数は減っていきますので、今しばらくの間は長い目で見て頂き野良猫との平和的共存を図って頂きますよう、ご協力のほどよろしくお願い致します。

町内会で取り組んだTNR活動

全部で24頭の避妊・去勢手術を実施！

　これは市内某自治会における野良猫との共生を図る取り組みを記したものです。
昨年４月に開催された自治会総会において、会員より野良猫による被害対策の必要性が訴えられたため、その後の役員会に於いて、野良猫、スズメ蜂、アライグマ、イノシシ等による被害対策を目的とした「野良猫等対策委員会」を今年度より新たに立ち上げ、４名の方に委員を委嘱しました。
　今年度より芦屋市では、芦屋動物愛護協会と連携してＴＮＲを推進しているとの情報を得たので、委員会では同協会の担当者を招いてＴＮＲについての説明を受け、手始めに野良猫の数が目立って多く、かつ捕獲のための餌づけと捕獲器設置にご協力を頂けそうなＡ地区で実施する計画を策定しました。また、ＴＮＲの実作業は動物愛護協会にお願いし、自治会（委員会）は実施地区の選定、捕獲器設置の協力依頼、住民への広報等を分担することにしました。

　ところが後日開催された役員会では、野良猫による被害は予想以上に広範囲に拡がっており、まずは実態調査が先決で、実施地域の選定は客観的データに基づいて公平にされるべきだとの意見が大勢を占めました。
そこで委員会では、目撃されている猫の頭数、被害の実態、餌づけの状況等のアンケート調査を町内の全世帯を対象に行い、Ａ地区のほか、Ｂ，Ｃ，Ｄ，Ｅの計５地区を対象地域として、１０～１１月に実施することにして役員会の承認を得ました。
その後、個人的にＴＮＲを実施済みの所があることも判明し、最終的には４地区で計２４頭の去勢・避妊手術を実施することができました。

　今回ＴＮＲの実施に当たって特に注意したのは、飼い猫の紛れ込みでした。そのため、アンケート調査と同様全世帯にチラシを配布して、実施日を予め連絡し、飼い猫には出来れば首輪を着けること、当日は飼い猫を外に出さないこと などを呼びかけました。
さらに捕獲された猫は集会所に一晩留め置き、飼い猫が紛れ込んだおそれのある場合には、飼い主さんが猫の確認と引き取りに来られるような態勢を整えました。
また、住民のなかでも野良猫について様々な考えがあるのが現状という中で、円滑に実施するためには、住民のＴＮＲに対する理解を深めてもらうことが肝要であるとの考えから、事前に「ＴＮＲとは？」というチラシを作成して全世帯に配布するという下準備も行いました。
　昨春にＴＮＲ実施を決定した際は、「自治会鳴動して、猫一匹」に終わるのではとの危惧も頭をかすめましたが、結果的には大きな成果を挙げることができました。それは、猫に餌を与えている方の協力、住民のＴＮＲに対する理解と支持もさることながら、動物愛護協会の献身的作業によるものであり、この場をお借りして厚くお礼申しあげます。
最後になりましたが、芦屋動物愛護協会の更なるご発展を祈念しつつ、筆を擱かせて頂きます。　Reported by 某自治会長 Mさん

ペット トータルケア サービス
芦屋バティーズ
ペット用車いす・介護用品販売/
訪問介護/シッター/お散歩代行
困ったときのパートナーの
お世話はお任せください

〒659-0065 芦屋市公光町9-4 アルコーブ芦屋301
店舗 10:00～18:00、日曜定休　訪問介護/シッター/お散歩代行 年中無休
0120-580811
ホームページは、、、
芦屋バティーズ　検索

LUCKY PET SERVICE
阪神間の
ペットタクシー
＜予約制＞
0120-194-142（いくよ いっしょに）
・動物病院
・ドッグカフェ
・ドッグランへの送迎
・引っ越し　・空港
・旅行先への送迎

ラッキーペットサービス
住所／西宮市堀切町8-3
営業時間／8：00～20：00
定休日／水曜日
時間外も応相談
http://luckypet.jp

ドイツ・犬物語 ⑥ ～ベルリン動物ホーム訪問記（後編）～

「すべての犬に温かい家庭を！」

好評連載 第6弾!

広大な敷地と百名を超す職員をかかえるベルリンの動物ホーム。
行政の援助は受けず、動物愛護協会会員の会費と民間からの寄付だけで運営している。
現在保護中の動物は千匹を超え、そのうち犬の数は約３百頭。
すべての犬に新しい飼い主を見つけることがホームの目標だが、果たしてそれは可能なのか？

雪景色の中のベルリン動物ホーム。コンクリートの打ち放しの無彩色の建物は、見た目は冷え冷えとしているが、犬のパビリオン（収容棟）に足を踏みいれるとほのかな暖かさに身体が包まれほっとできる。暖房器具が見当たらないと思ったら、パビリオンには床暖房が施されているという。

職員に連れられて動物ホームの敷地内を散歩中の犬

円形のパビリオンが１２の部屋に仕切られており、奥の白い部分は雪の積もっている庭

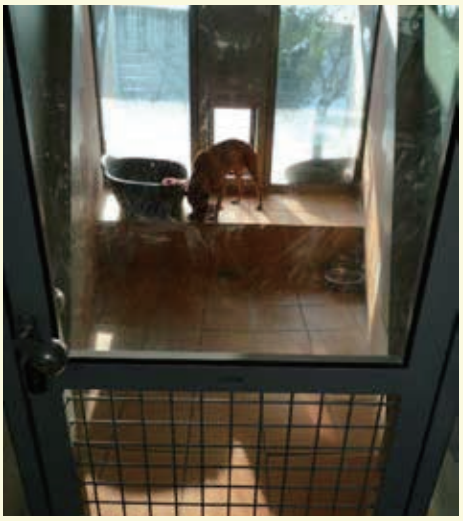
お昼寝中の犬が意外に多く、思わずこちらも息をひそめて寝顔をのぞきこむ。その一方で、氷点下１０度の寒さも意とせず庭に出て周囲の様子を伺っている犬もいる。１つのパビリオンは１２の庭付きの小部屋（部屋５．５㎡、庭１６．２㎡）に分かれていて、「猫ドア」をくぐれば自分専用の庭に出られるようになっているのだ。このスペースに、大型犬なら２匹まで、小型犬なら３匹までが居住しており、庭に面した仕切りは大きなガラス張り、庭の半分は屋根で覆われている。犬たちが風雨にさらされずに光や新鮮な外気に十分触れられるよう工夫が凝らされていると、訪れるたびに感心せずにはいられない。

掃除と餌やりを終えた職員からブラッシングをしてもらい、病気になれば専属の獣医の治療を受ける。職員やボランティアに散歩に連れていってもらい、毎日とはいかないがドッグランで駆け回ることもできる。これは１人部屋住まいの犬にとっては他の犬たちと交流できるいい機会でもある。まるで「優雅なホテル暮らし」のように見えるが、この犬たちには一番大切なものが欠けている。マイホーム、そして愛情を注いでくれる飼い主だ。

収容中の犬にできるだけ快適な環境を提供しようとホームは努力しているが、最終目標はもちろん、「すべての犬に愛情深い家庭を提供すること」だ。ドイツのペットショップは犬を販売していないので「犬を飼おう！」と思えばまず動物ホームに出かけるのが定番だ。このホームは毎年2000頭ほどの犬を新しい飼い主に紹介しているが、最近は不況が影響してか引き取り手の数の方が少なく、すでに収容能力の限界まできているという。では、これ以上収容する犬が増えたらどうするのか？広報のケーニッヒさんによると、そんな時は各地にある動物愛護協会と連絡を取り合い、空きスペースのある施設に犬を移送するそうだ。「殺処分」はドイツでは行われないと彼女は断言する。

だからといってホームが「死」と無縁というわけではない。犬が助かる見込みがない病気を患い、痛みがひどく生きていることでかえって苦しみが加重されると判断したときに限って注射を打ち安楽死させるという。高齢の犬、問題行動のある犬、そして「危険とされる犬種」の犬は実際には新しい飼い主が見つかりにくいが、それは安楽死の理由にはならない。
同ホームでの犬の平均滞在期間は３か月。すぐに新しい飼い主と巡りあう幸運な犬もいれば、３年以上の長期滞在犬もいる。

新しい飼い主に引き取られていったのに、また路上で保護されホームに舞い戻ってくる犬もいる。そんな不幸が繰り返されないよう、ホーム側は受け取り希望者の意志と生活環境をチェックする。 訪問時には犬をゆっくり観察し紹介窓口で十分相談できるよう閉館の１時間半前には来ること、犬と同居することになる者が全員来ること、すでに飼っている犬も同伴させることをホームは薦めている。また生活環境については、借家住まいなら大家の許可は得られているのか？同居人にアレルギーを持つ人がいないか？そして、１日に最低３回計２時間犬を散歩に連れ出せるかといった質問を受ける。



パビリオンの中の部屋の一つ「猫ドア」があり、庭に出られるようになっている

１日３回計２時間―かなり犬好きな人でもちょっと躊躇するのではないだろうか？おまけに犬は原則タダでは受け取れない。治療やワクチン代、去勢避妊手術を施した場合の費用などの一部を新しい飼い主が負担することになっているのだ（最高205ユーロまで）。決して大金ではないが、節約家のドイツ人にある種の覚悟を求めるひとつのきっかけになっているのかもしれない。
すべての犬に幸あれ！と願いつつ、動物ホームを後にした。

注：１ユーロ＝約130円

池永 記代美（ベルリン在住）

名犬育成講座 12　復習その1「フセ」

～パートナードッグクラブしつけ方教室より～

ふせの姿勢は犬にとって無防備な姿勢になるので、飼い主の指示に従って伏せさせることは、犬の服従心を育てるためにとても有効な号令です。もしも犬が嫌がる様子を見せたとしても決して諦めず、オヤツやオモチャを使って上手に誘導しながら練習しましょう。

方法その1

① 犬をすわらせます
② 犬の鼻先にオヤツ（またはオモチャ）を持っていきます
③ オヤツをゆっくりと真下におろします
④ 犬がオヤツを追って頭を下げてきたら少しずつオヤツを前にずらし「ふせ」の号令をかけます
⑤ 犬がふせの状態になれば「よし」と褒めて、オヤツを与えて（おもちゃで遊んで）あげましょう

方法その2

①片足を犬がふせて通れる位の山形に立てて座ります
②オヤツやオモチャを使って犬が足の下を通るように誘導します。
③犬が足の下でふせの形になったときに「ふせ」の号令をかけオヤツを与え（オモチャで遊んで）あげましょう

犬のしつけは何のため？

犬のしつけやトレーニングは自由を束縛するようで可哀想だという声があります。本当にそうでしょうか？
社会性のある犬という動物は、本来人間のために働くのを目的に改良されてきたものなのです。
ですから、犬の本能の中には、人間の命令に従って働く、という意識が残っています。
しつけやトレーニングは、犬の本能の中にある「人のために働く」という意識を刺激し、頭と体を使わせることで本来犬が持っている能力を引き出し、それは犬が毎日生き生きと暮らしていくためになくてはならないものなのです。
人間に飼われている犬にとっては、飼い主がリーダーです。「犬が今、何をすべきか」をリーダーが示すのがしつけやトレーニングです。
リーダーがリーダーらしく君臨せず、なんの指示も与えなかったとしたら犬は混乱します。100%の自由というものは、犬にとって決してありがたいものではないはずです。
「可愛い！可愛い！」だけで抱え込むと、様々な問題行動が起こって困る場合があります。
噛みつき、無駄吠え、飛び出しによる事故、分離不安・・・
人と犬が互いに楽しく平和に暮らしていくためには、基本的なしつけやトレーニングを行うことをおすすめします。

復習しておきたい７項目

● アイコンタクト　● すわれ　● ふせ　● 来い　● まて　● 立て　● ハウストレーニング

あしや秋まつりバザー報告

日時：平成 21 年 10 月 11 日（日）晴　**場所**：市立精道小学校 校庭

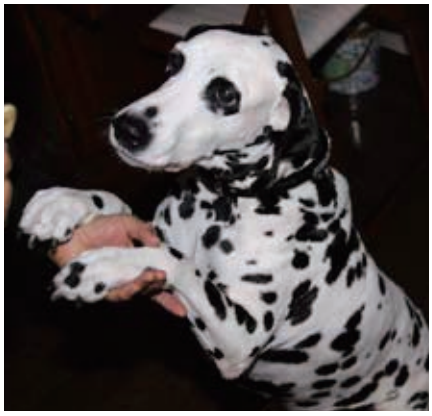
販売品提供者数：２３名以上
のべ参加スタッフ数：３２名
販売スタッフ：2010/10/11　10名
準備作業：2010/10/07　5名
2010/10/08　4名
2010/10/09　4名
2010/10/10　5名
片付作業：2010/10/16　4名

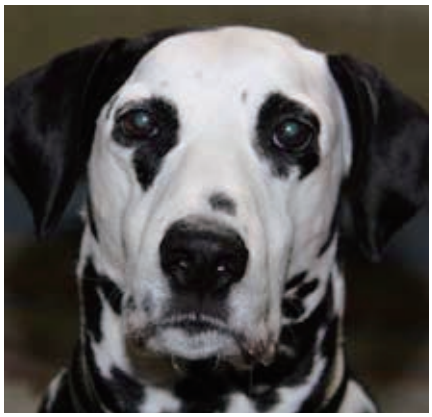
仕入	0
消耗品（ガムテープ・値札等）	4,228
飲食費（6日／32名）	13,221
出店料	12,000
雑費（バザー品保管場所清掃経費）	900
計	30,349

売上	182,755
当日寄付金	9,000
募金箱	817
計	192,572

収入－経費	**162,223**

惜別　愛犬「キング」の想い出に寄せて





新春早々の1月5日午後6時45分に我が愛するダルメシアンの愛犬「キング」が突然逝った。享年は推定12歳。2007年12月14日に我が家にやってきたときに芦屋動物愛護協会の方から伺った話では、「多分10歳ぐらい」とのことだった。しかし、飼い始めてみると年齢を全く感じさせない鋭い感覚と、旺盛な食欲、元気にリードを引っ張る強い力があった。

人が逝くときも寂しいが、犬とはいえ家族と同様に暮らした、その傷跡は消えるものではない。当初に預かる筈だった1ヶ月間はその後、日が経つに従って愛情が乗り移り半年、1年、1年半、2年間と瞬く間に「時」が過ぎた。最後の最後まで面倒をみて、看取ったのは妻だった。

早朝には妻が、夕方には私が夫々「キング」を連れて芦屋川とその周辺を散歩したが、もうその必要がなくなってしまった。いつも一緒に床を共にしていたので、寂しくなった。哀悼の意を表してチェロで、フランス・バロック音楽の小品「哀歌」を演奏しつつ、最後の別れを告げたのも現在では想い出の一部に過ぎない。

今回、芦屋動物愛護協会で最もお世話になった方から、心温まるメッセージが届いたので、その一端を感謝と共に、今後の励みとして次の文章を掲載させて頂く。

『思い返せば２年前のこと…最初お願いした時は、ほんの１ヶ月間だけのお預かりのはずでした。結局飼い主さんの家庭の事情で飼養放棄になってしまったため、ポスターやインターネットで里親募集はしてみたものの、高齢犬だったせいか、なかなか良いご縁に巡り会えず、キング君はそのままそちらで居候生活を続ける形になってしまいました。
上野さんご夫妻がとてもとても愛情深くお世話して下さったので、キング君の幸せイッパイで心底楽しそうな暮らしぶりを見ている、別の新しい飼い主さんを探せなくなってしまったという事情も背景にはありました。

何度も飼い主に飼養放棄をされた経験を持つ可哀想なキング君でしたが、最後にはこんなに良いご縁に巡り会えて、とても幸せな晩年を過ごすことが出来たのですから、彼にとってはこれで良かったのだと思っています。
本当に長い間お世話になりました。いつも申し訳ない気持ちでいっぱいでしたが、改めて心よりお礼申し上げます。
キング君、お世話になったパパとママのことをちゃんと天国から見守っていてね♪』

愛する「キング」の逝去に当たり、この他にも多くの方々から私のブログ　800字コラム【僕の伝言板】（http://d.hatena.ne.jp/katchan/）へのコメントやメール、電話等でお悔やみと慰めを頂いた。この場を借りて感謝と御礼を申し上げる。

上野 克二

犬連れ旅行記　犬も泊まれる カニと温泉の宿

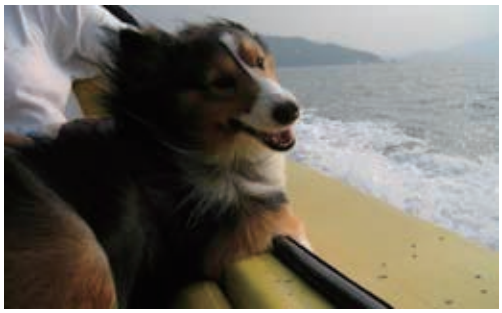
冬は美味しいものが満載で、食いしん坊にはとても嬉しい季節ですね。
「カニは食べに行きたいけど、犬が居るとなかなか旅行に行けなくって…」と悩んでいる飼い主さんに朗報です！愛犬と一緒に日本海でカニを食べることが出来るんです。天橋立から少し入ったところの静かな一角に佇むその宿の名前は「里の宿　川尻」
民宿ではありますが、成相観音湯を源泉とした温泉も完備しているゴキゲンなお宿です。犬も飼い主さんと一緒に客室に泊まれるし食事はお部屋でゆっくり頂けるので安心です。（最低限の躾が必要なのは言うまでもありません。念のため）

まずは、風光明媚な天橋立へ。片道で約4kmあって、なかなか普段は歩かない距離かもしれませんが、愛犬と一緒に景色を楽しみながら是非チャレンジして下さい。往復歩くのは不安な方も心配ご無用！高速艇は犬も乗船ＯＫなので、片道で疲れちゃった場合でも楽々帰って来られます。

宿でチェックインを済ませたら、いざ温泉へ!その後は、今回の旅の一番のお楽しみ　カニ三昧の夕食です。もちろんカニのお刺身に天麩羅もイッパイ!ホクホクのカニの足を思いっきりほおばって幸せ気分もイッパイです。お腹が膨れたら、再びワンちゃんとお散歩に出掛けてみましょう。空気がきれいなので、満天の星空があなたを出迎えてくれるでしょう。朝昼晩とそれぞれに違った美しさを見せてくれる天橋立を満喫出来るに違いありません。

さて、旅先でハイ・テンションになるのは人間だけではないようです。興奮したお馬鹿な犬のせいで、私達には思わぬ悲劇が待ち受けていました。愛犬びーちゃんと夜の散歩に出た私。近くをひと回りして戻って来た時、びーちゃんは何を思ったのかいきなり一目散に猛ダッシュ!彼の走り行く先には、幅1mくらいの溝が立ち塞がっています。溝のふちまで行ったびーちゃんは急停止!こちらを振り返って何故か「にやり」と私に不敵な笑みを見せたその瞬間!嫌な予感がして「びーちゃんダメ!!止まれ!!」と叫んだけれど間に合わず、彼は地面を蹴って向こう岸へ華麗にジャーンプ!いえ、ジャンプしたつもり…でした。
びーちゃんは、短足で太目のシェルティ。助走もなしにそんな溝を飛び越えられるはずがありません。当然のこと、ドロドロに濁った溝の底へと真っ逆さまに落ちてしまいました。
ビックリして泥の中で固まったびーちゃんを叱咤激励しながらなんとか引っ張り上げ、洗い場まで引きずって行って、頭からズッポリ泥まみれになった体を、ぎゃんぎゃん叱りつけながらの全身シャンプー。もちろん私だって泥だらけ。予想外の失態と叱られたダブルショックで自信喪失してしまった可哀想なびーちゃんは、朝まで落ち込んでしょげまくりでした。

いつもと違った愛犬の意外な面を見せつけられたりして、そんな面白さや失敗もあるワクワク犬連れ旅行。皆様もぜひどうぞ!



わたしの本棚 ～猫の話・犬の話・動物の話～　第二弾【紹介者ノリちゃん】

1「トラや」南木佳士著（文芸春秋刊）

書店で、表紙のシンプルな装丁に魅かれてこの本を手にした。そこに描かれた1匹の猫の後ろ姿も印象的だった。「帯」にはこう記されている。「うつ病に苦しみ、老父の介護に疲れた　私のもとへ現れた子猫。廊下で鳴いていた。トラや、ともに生き、生き延びてきた　十五年をここに　記そう。」
　　臨床医でもある南木氏が、家族と、また家族の一員となった「トラ」と共に過ごした日々を綴った書き下ろし作品。ひとりの医師が真摯に命と向き合う姿に、静かな共感がわきあがってくる。そして、そんな氏に寄り添うような小さな生き物のぬくもり・・・。おススメです。

2「作家の猫」（平凡社）

猫の写真集は数あれど、その中で一番「文学的」なのがこの一冊。裏表紙の、火鉢に手をかけて暖をとる、室生犀星の愛猫の写真は何とも微笑ましい。その姿をやわらかい表情で見守る犀星・・・。夏目漱石、南方熊楠、谷崎潤一郎、藤田嗣治、大仏次郎、稲垣足穂、幸田文、池波正太郎、田村隆一、三島由紀夫、開高健、中島らもなど、猫を愛した作家と作家に描かれた猫たちのアルバムで、とっておきの瞬間が満載。巻末に「猫の名作文学館」として猫好きのための、猫好き作家による名作文学が紹介されている。文字通り、猫＆文学好きにはぜひおススメしたい一冊。

3「猫島ハウスの騒動」若竹七海（光文社文庫）

上記2編とはまったくちがうテイストの本編は、いわゆるコージーミステリーと呼ばれる長編推理小説。葉崎市という架空の海辺の町（島）を舞台に殺人事件が発生。謎解きも面白いが、個性豊かな登場人物、微妙にからまる捨て猫や地域猫の問題。軽く楽しめて、ちょっと考えさせられるおススメの一冊。

今年もバスツアーに行って来ました

新型インフルエンザの影響で、6月の開催予定が秋に延期になってしまったバスツアー。今回は２０名の参加がありました。心配されたお天気は朝から雨。でもバスに乗ればすぐに楽しいおしゃべりが始まり、「神戸花鳥園」へと向かいました。

入り口では沢山のフクロウの出迎えにビックリ!でもそこを通り過ぎると、次は可愛いペンギンとオシドリの群。期待に胸を膨らませて先へ進むと、まるで置物のような大小のフクロウが沢山木に止まっている不思議な光景に出会ってまたまたビックリ。やがて、フクロウの飛行ショーが始まりました。よく訓練されたフクロウが指導員の指示に従って高い木の上から観客の頭すれすれに大きな羽を広げて飛んで来て手に止まります（拍手）。次の触れ合いコーナーでは、餌を手に持つとオオハシが肩や腕に止まり餌をついばんでくれるという楽しい体験が出来ました。

頭上に咲き乱れる花々の下でゆっくりバイキングを楽しんだ後、次の目的地の「人と防災未来センター」へと出発。「震災追体験フロア」「１．１７シアター」等々、震災資料の展示を見ましたが、実際に体験している私達にはあの時の辛い思い出が甦り、忘れてはいけないという思いを新たにしました。最後の目的地の「兵庫県警」では、まず通信司令室の見学。１１０番通報を受ける様子やパトカーの現在地、交通事故の状況、コンピュータ制御による信号機の時間調節、交通情報板でドライバーに交通情報を知らせるなど、交通の流れを円滑にする仕事を実感。市民を守る警察の仕事に改めて感謝の気持ちが湧いてきました。

今回は無理のないゆっくりした行程だったので、慌しいこともなく有意義で楽しいバスツアーになりました。　Ｙ．Ｉ

これからの予定

芦屋川クリーン作戦

日時：３月２０日（土）１０時～１２時　雨天中止
場所：市民センター → 芦屋川河口
　　市民センター西側の歩道に１０時集合
芦屋川の河川敷と歩道のゴミ拾いを行います
（軍手・ポリ袋・鉄火ハサミは用意しています）

犬のしつけ方１日教室

日時：３月２４日（水）　１３時～１５時　雨天中止
場所：中央公園芝生広場東屋付近（若葉町）
参加費：５００円（保険料含む）
参加資格：生後５ヶ月以上で狂犬病予防注射と混合ワクチンを
　　１年以内に接種していること
申し込み：下記必要事項を書いてハガキまたはFAXでお送りください
　　締切３月１９日（金）まで（ＨＰ上からも簡単に申し込めます）

住所・氏名・年齢・電話・FAX・Eメールアドレス（無ければ不要）
犬情報：名前・種類・性別・年齢

〒659-8501 芦屋市役所 経済課内 芦屋動物愛護協会 FAX.0797-38-2176

動物愛護基金バザー

日時：３月２８日（日）１０時～１５時　雨天中止
場所：ラポルテ２階ペデストリアンデッキ
日本アニマルトラスト（ハッピーハウス）もバザーで参加!
ＴＮＲ（野良猫の不妊手術）の写真展も開催!

狂犬病予防注射会場でチラシ配布

（①13：15～14：15、②14：45～15：30）
４月５日（木）①山手夢保育園前（旧山手幼稚園）、②奥池集会所
４月６日（木）①呉川公園、②津知公園
４月７日（木）①岩園保育所前、②東芦屋公園
４月８日（木）①中央公園、②総合公園（南芦屋浜）駐車場

総会

日時：５月２８日（金）１１時～１２時
場所：芦屋市役所内の会議室にて

バスツアー

日時：６月上旬を予定
行き先：ささやまの森公園～王地山公園ささやま荘～玉水ゆり園
費用：４５００円（会員）　５０００円（会員外）

寄付金　合計 301,000

寄付金をお寄せ下さった皆さまに厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。
心より感謝いたしております。どうか、今後も引き続きご協力賜りますよう 宜しくお願いいたします。

年	月	金額	住所	お名前
21	07	49,000	打出小槌町	Ｈ様
	08	20,000	潮見町	Ｍ様
	08	10,000	朝日ヶ丘町	Ｉ様
	09	4,000	朝日ヶ丘町	Ｍ様
	09	10,000	打出小槌町	Ｋ様
	10	3,000	松ノ内町	Ｓ様
	10	2,000	業平町	Ｓ様

年	月	金額	住所	お名前
21	10	2,000	業平町	Ｙ様
	10	2,000	高浜町	Ｉ様
	10	3,000	浜芦屋町	Ｈ様
	10	10,000	奥池南町	Ｉ様
	10	10,000	匿名	匿名
	10	10,000	朝日ヶ丘町	Ｋ様
	10	10,000	高浜町	Ｋ様

年	月	金額	住所	お名前
21	11	30,000	奥池南町	Ｋ様
	11	30,000	奥池南町	Ｉ様
	12	20,000	打出町	Ｙ様
	12	20,000	西山町	Ｍ様
	12	10,000	西蔵町	Ｔ様
	12	7,000	三条町	Ｗ様
	12	4,000	神戸市東灘区	Ｏ様

年	月	金額	住所	お名前
21	12	5,000	神戸市東灘区	Ｓ様
	12	4,000	三条町	Ｙ様
	12	4,000	三条町	Ｉ様
	12	1,000	三条町	Ｔ様
	12	1,000	三条町	Ｔ様
22	01	10,000	浜町	Ｈ様
	01	10,000	翠ヶ丘町	Ｓ様

入会案内と寄付の受付

会費1,000円/年のみ（入会金はありません）　動物を愛する全ての方の入会を歓迎致します。

1 協会事務局（芦屋市役所・経済課）窓口にて
住所・氏名・電話番号をご記入のうえ 会費1,000円を添えて

2 郵便振替口座へ会費1,000円を送金
口座番号：00960=8=265605　口座名：芦屋動物愛護協会

芦屋動物愛護協会 Ashiya Sciety for the Prevention of Cruelty to Animals
事務局：芦屋市役所経済課内　**電話**：0797-38-2033　**Web**：http://www.ashiyaanimalsociety.com/　**Mail**：ashiya_animal@hotmail.com